

授業シラバス

MCL盛岡情報ビジネス&デザイン専門学校

単位名	コンピュータビジネス活用 I		授業科目名	Office(PowerPoint)		
受講可能学科	情報ビジネス科		履修年次	1年～	開講期間	前期
授業方法	講義&演習		授業コマ数	45コマ(90単位時間)		
担当講師	松森良子	講師区分	一般教員	分類	必修選択	
〔授業のねらい・概要〕						
ビジネスシーンに必要な不可欠なMicrosoft PowerPointの操作方法を理解し、目的に応じてプレゼンテーションを作成できる知識を身につける。						
〔到達目標〕						
PowerPointソフトの基本的な活用、アニメーションや画面切り替え等を使用したプレゼンテーションが作成できる実社会を想定し、作成したプレゼンテーションを用いて「分かりやすく伝える」発表ができる						
〔成績評価基準〕						
評価の前提条件： 出席率が80%以上であること、および、各評価項目がすべて「可」以上であること						
評価項目： 検定試験(30%)、発表会(40%)、受講態度(30%)						
〔授業時間外に必要な学習内容〕						
〔教材・検定〕						
教材：FOM出版 よくわかるマスター Microsoft Office Specialist PowerPoint 2019 対策テキスト&問題集						
検定：						
〔必要な費用〕						
教材費：円						
検定費：円						
〔履修にあたっての留意点〕						
〔実務教員の実務経験〕						
〔備考〕						
コマ	授業計画・内容					
1～2	授業概要説明、PowerPoint操作説明					

授業シラバス

MCL盛岡情報ビジネス&デザイン専門学校

単位名	コンピュータビジネス活用 I		授業科目名	Office(Excel基礎)		
受講可能学科	情報ビジネス科		履修年次	1年～	開講期間	前期
授業方法	講義&演習		授業コマ数	15コマ(30単位時間)		
担当講師	松森良子	講師区分	一般教員	分類	必修選択	
〔授業のねらい・概要〕						
ビジネスシーンに必要な不可欠なMicrosoft Excelの操作方法を理解し、目的に応じて数値データを活用できる知識を身につける。						
〔到達目標〕						
・ Excelソフトの基本的な活用、様々なデータから関数の使用、グラフの作成等ができる ・ 実社会を想定し、書類の作成や管理ができる						
〔成績評価基準〕						
評価の前提条件： 出席率が80%以上であること、および、各評価項目がすべて「可」以上であること						
評価項目： 検定試験(50%)、受講態度(50%)						
〔授業時間外に必要な学習内容〕						
〔教材・検定〕						
教材：FOM出版 よくわかるマスター Microsoft Office Specialist Excel 2019 対策テキスト&問題集						
検定：						
〔必要な費用〕						
教材費：円						
検定費：円						
〔履修にあたっての留意点〕						
〔実務教員の実務経験〕						
〔備 考〕						
コマ	授業計画・内容					
1～2	授業概要説明、IME、Excel入力操作基礎					

授業シラバス

MCL盛岡情報ビジネス & デザイン専門学校

単位名	経営経済Ⅰ		授業科目名	販売士(3級)		
受講可能学科	情報ビジネス科		履修年次	1年～	開講期間	前期
授業方法	講義&演習		授業コマ数	45コマ(90単位時間)		
担当講師	小原能和	講師区分	実務教員	分類	必修選択	
〔授業のねらい・概要〕						
流通・小売り業に必要な基本知識とマーケティングを学ぶ						
〔到達目標〕						
・流通、小売り業の役割を理解することができる ・接客マナーや売り場づくりなど、販売担当として必要な知識と技術を身に付ける						
〔成績評価基準〕						
評価の前提条件: 出席率が80%以上であること、および、各評価項目がすべて「可」以上であること						
評価項目: 検定試験(40%)、定期試験得点率(30%)、受講態度(30%)						
〔授業時間外に必要な学習内容〕						
〔教材・検定〕						
教材: 販売士3級公式ハンドブック/問題集 検定: 販売士検定3級						
〔必要な費用〕						
教材費: 円 検定費: 円						
〔履修にあたっての留意点〕						
〔実務教員の実務経験〕						
店舗開発・土地開発に従事。日本販売士協会理事。						
〔備考〕						
コマ	授業計画・内容					
1	オリエンテーション、業界講話					

授業シラバス

MCL盛岡情報ビジネス & デザイン専門学校

単位名	キャリアデザイン I		授業科目名	業界研究		
受講可能学科	情報ビジネス科		履修年次	1年～	開講期間	前期
授業方法	講義&演習		授業コマ数	15コマ(30単位時間)		
担当講師	高橋千穂子	講師区分	実務教員	分類	必修	
〔授業のねらい・概要〕 就職に向けた企業研究と自己分析						
〔到達目標〕 正しく業界と業種を知り、自身とのマッチングができる						
〔成績評価基準〕 評価の前提条件: 出席率が80%以上であること、および、各評価項目がすべて「可」以上であること 評価項目: 課題の内容評価(20%)、発表会(40%)、受講態度(40%)						
〔授業時間外に必要な学習内容〕						
〔教材・検定〕 教材: 職業興味検査、心理検査など 検定:						
〔必要な費用〕 教材費: 円 検定費: 円						
〔履修にあたっての留意点〕						
〔実務教員の実務経験〕 金融機関に従事						
〔備 考〕						
コマ	授業計画・内容					
1	職業興味検査					

授業シラバス

MCL盛岡情報ビジネス & デザイン専門学校

単位名	ビジネス概論 I	授業科目名	ビジネスプラン		
受講可能学科	情報ビジネス科	履修年次	1年～	開講期間	前期
授業方法	講義&演習	授業コマ数	15コマ(30単位時間)		
担当講師	高橋千穂子	講師区分	実務教員	分類	必修選択
〔授業のねらい・概要〕 ビジネスフローの学びを通し、マーケティング・企画・経済などを総合的に学ぶ					
〔到達目標〕 事業計画を完成させ、アントレプレナーシップを身に付ける					
〔成績評価基準〕 評価の前提条件: 出席率が80%以上であること、および、各評価項目がすべて「可」以上であること 評価項目: 課題の内容評価(30%)、発表会(30%)、受講態度(40%)					
〔授業時間外に必要な学習内容〕					
〔教材・検定〕 教材: 検定:					
〔必要な費用〕 教材費: 円 検定費: 円					
〔履修にあたっての留意点〕					
〔実務教員の実務経験〕 金融機関に従事。					
〔備 考〕					
コマ	授業計画・内容				
1	オリエンテーション				

授業シラバス

MCL盛岡情報ビジネス & デザイン専門学校

単位名	コンピュータビジネス活用 I		授業科目名	Illustrator基礎		
受講可能学科	情報ビジネス科		履修年次	1年～	開講期間	前期
授業方法	講義&演習		授業コマ数	15コマ(30単位時間)		
担当講師	小國孔志郎	講師区分	実務教員	分類	必修選択	
〔授業のねらい・概要〕						
Illustratorの基本操作と畿央を理解し、図表やデザイン、イラストレーションを作成できるようになる。また、課題制作を通し、表現力や視覚的情報発信の力を身につける。						
〔到達目標〕						
Illustratorの基本操作ができるようになる。学んだことをもとに、チラシやポスター等の制作物を作成できる。						
〔成績評価基準〕						
評価の前提条件： 出席率が80%以上であること、および、各評価項目がすべて「可」以上であること						
評価項目： 課題の内容評価(40%)、検定試験(30%)、受講態度(30%)						
〔授業時間外に必要な学習内容〕						
〔教材・検定〕						
教材:Illustrator &Photoshop 操作とデザインの教科書						
検定:Illustratorクリエイター能力認定試験(スタンダード)						
〔必要な費用〕						
教材費:円						
検定費:円						
〔履修にあたっての留意点〕						
〔実務教員の実務経験〕						
印刷会社に所属しデザイナーとして従事。						
〔備 考〕						
コマ	授業計画・内容					
1～2	オリエンテーション,特徴説明、基本操作					

授業シラバス

MCL盛岡情報ビジネス＆デザイン専門学校

単位名	基礎教養Ⅰ		授業科目名	就職対策/筆記		
受講可能学科	情報ビジネス科		履修年次	1年～	開講期間	前期
授業方法	講義		授業コマ数	15コマ(30単位時間)		
担当講師	小國孔志郎	講師区分	一般教員	分類	必修	
〔授業のねらい・概要〕						
採用試験で行われる筆記試験のSPIや一般教養などを学ぶ						
〔到達目標〕						
基本的な計算問題、言語理解、文章の理解ができ、指定の時間内に効率的に問題を解くことができる。						
〔成績評価基準〕						
評価の前提条件： 出席率が80%以上であること、および、各評価項目がすべて「可」以上であること						
評価項目： 定期試験得点率(50%)、受講態度(20%)、小テスト得点率(30%)						
〔授業時間外に必要な学習内容〕						
〔教材・検定〕						
教材：基礎から学ぶSPIベーシック問題集 実践レベルで学ぶSPI対策問題集 問題プリント など						
検定：						
〔必要な費用〕						
教材費：円						
検定費：円						
〔履修にあたっての留意点〕						
〔実務教員の実務経験〕						
〔備考〕						

授業シラバス

MCL盛岡情報ビジネス&デザイン専門学校

単位名	ビジネス概論Ⅰ		授業科目名	ビジネス実践(基礎)		
受講可能学科	情報ビジネス科		履修年次	1年～	開講期間	前期
授業方法	演習		授業コマ数	15コマ(30単位時間)		
担当講師	小國孔志郎	講師区分	一般教員	分類	必修選択	
〔授業のねらい・概要〕 グループワークを通じてクラスの結束力を高め、ビジネスシーンに必要な基礎力を高める。また、学生の主体的に成長し続けられるよう、自分や物事を多角的、多面的に考え、様々な気づきを得られる機会とする。						
〔到達目標〕 様々な視点から物事を考えられるようになる。チームで協力し、適切な情報収集と情報の整理、伝達（プレゼン、文書）ができるようになる。自己の学習意欲、成長意欲を高めることができる。						
〔成績評価基準〕 評価の前提条件： 出席率が80%以上であること、および、各評価項目がすべて「可」以上であること 評価項目： 発表会(30%)、受講態度(40%)、課題の内容評価(30%)						
〔授業時間外に必要な学習内容〕						
〔教材・検定〕 教材： 検定：						
〔必要な費用〕 教材費：円 検定費：円						
〔履修にあたっての留意点〕						
〔実務教員の実務経験〕						
〔備考〕						
コマ	授業計画・内容					
1	オリエンテーション、コンセンサスゲーム					

授業シラバス

MCL盛岡情報ビジネス & デザイン専門学校

単位名	経営経済Ⅰ		授業科目名	日商簿記3級		
受講可能学科	情報ビジネス科		履修年次	1年～	開講期間	前期
授業方法	講義		授業コマ数	90コマ(180単位時間)		
担当講師	高橋千穂子	講師区分	実務教員	分類	必修	
〔授業のねらい・概要〕						
日商簿記3級の受験を通じて簿記の基礎を学び、正確な帳簿をつける力を身に付け、費用や収益率への意識を持てるようになる。						
〔到達目標〕						
商品売買を営む株式会社の日常取引について、正しく仕訳ができる。各勘定や帳簿の記入ルールを理解し、正確な財務諸表を作成することができる。						
〔成績評価基準〕						
評価の前提条件： 出席率が80%以上であること、および、各評価項目がすべて「可」以上であること						
評価項目： 検定試験(30%)、小テスト得点率(30%)、受講態度(20%)、出席率(20%)						
〔授業時間外に必要な学習内容〕						
演習時間内に決められた範囲が終了しなかった場合、次回授業開始までに必ず完了させること。						
〔教材・検定〕						
教材：TAC 日商簿記3級合格テキスト・合格トレーニング 問題プリント 他						
検定：日商簿記検定3級						
〔必要な費用〕						
教材費：円						
検定費：円						
〔履修にあたっての留意点〕						
；						
〔実務教員の実務経験〕						
金融機関に従事。						
〔備 考〕						

コマ	授業計画・内容
1	授業オリエンテーション
2	簿記の意義, 財務諸表と簿記の5要素
3～4	日常の手続き
5～7	商品売買Ⅰ
8～9	商品売買Ⅱ
10	仕分け確認テスト①
11～13	現金・預金
14	小口現金
15	クレジット売掛金
16～17	約束手形
18～19	電子記録債権・債務
20	仕分け確認テスト②
21～23	その他の取引Ⅰ
24～26	その他の取引Ⅱ
27～28	その他の取引Ⅲ
29	仕分け確認テスト③
30～32	様々な帳簿の関係
33～35	試算表
36～38	問題演習 第2問対策
39	決算の流れ
40	決算整理Ⅰ 現金過不足
41～42	決算整理Ⅱ 売上原価
43～44	決算整理Ⅲ 貸倒れ
45～47	決算整理Ⅳ 減価償却
48	決算整理Ⅴ 貯蔵品
49	決算整理Ⅵ 当座借越
50～51	決算整理Ⅶ 経過勘定項目 前払い/前受け
52～53	決算整理Ⅶ 経過勘定項目 未収/未払い
54	決算整理Ⅶ 経過勘定項目 まとめ
55	仕分け確認テスト④
56～58	決算整理後残高試算表
59～61	精算表
62～63	帳簿の締め切り
64～67	損益計算書と貸借対照表
68～72	問題演習 第3問対策
73	株式の発行
74	剰余金の配当と処分
75	税金
76～77	証ひょうの読み取り
78	伝票
79～90	模擬試験演習

授業シラバス

MCL盛岡情報ビジネス & デザイン専門学校

単位名	ビジネス概論Ⅰ		授業科目名	情報リテラシー		
受講可能学科	情報ビジネス科		履修年次	1年～	開講期間	前期
授業方法	講義		授業コマ数	15コマ(30単位時間)		
担当講師	小國孔志郎	講師区分	一般教員	分類	必修選択	
〔授業のねらい・概要〕						
・インターネットやデータを活用するため、情報化社会に必要な基本知識や情報モラルを学ぶ ・ネットリテラシー検定の取得を目指す						
〔到達目標〕						
インターネットの便利さや危険性を理解し、適切な情報活用法と効率的な情報収集ができる。 また、コンピュータウイルスやインターネット犯罪から身を守ることができる。						
〔成績評価基準〕						
評価の前提条件： 出席率が80%以上であること、および、各評価項目がすべて「可」以上であること 評価項目： 検定試験(40%)、受講態度(30%)、小テスト得点率(30%)						
〔授業時間外に必要な学習内容〕						
〔教材・検定〕						
教材：基礎から学ぶ社会人のネットリテラシー 小テストプリント 検定：ネットリテラシー検定						
〔必要な費用〕						
教材費：円 検定費：円						
〔履修にあたっての留意点〕						
〔実務教員の実務経験〕						
〔備 考〕						

授業シラバス

MCL盛岡情報ビジネス&デザイン専門学校

単位名	コンピュータビジネス活用 I		授業科目名	Office(Excel応用)		
受講可能学科	情報ビジネス科		履修年次	1年～	開講期間	後期
授業方法	講義&演習		授業コマ数	30コマ(60単位時間)		
担当講師	松森良子	講師区分	一般教員	分類	必修選択	
〔授業のねらい・概要〕						
ビジネスシーンに必要なMicrosoft Excelの操作方法を理解し、目的に応じて数値データを活用できる知識を身につける。						
〔到達目標〕						
・ Excelソフトの基本的な活用、様々なデータから関数の使用、グラフの作成等ができる ・ 実社会を想定し、書類の作成や管理ができる						
〔成績評価基準〕						
評価の前提条件： 出席率が80%以上であること、および、各評価項目がすべて「可」以上であること						
評価項目： 検定試験(50%)、受講態度(50%)						
〔授業時間外に必要な学習内容〕						
〔教材・検定〕						
教材：FOM出版 よくわかるマスター Microsoft Office Specialist Excel 2019 対策テキスト&問題集						
検定：						
〔必要な費用〕						
教材費：円						
検定費：円						
〔履修にあたっての留意点〕						
〔実務教員の実務経験〕						
〔備 考〕						
コマ	授業計画・内容					
1～4	関数(文字列操作)、問題演習					

授業シラバス

MCL盛岡情報ビジネス & デザイン専門学校

単位名	コンピュータビジネス活用 I		授業科目名	Office(Word)		
受講可能学科	情報ビジネス科		履修年次	1年～	開講期間	後期
授業方法	講義&演習		授業コマ数	45コマ(90単位時間)		
担当講師	松森良子	講師区分	一般教員	分類	必修選択	
〔授業のねらい・概要〕						
ビジネスシーンに必要な不可欠なMicrosoft Wordの操作方法を理解し、目的に応じて文書を作成できる知識を身につける。						
〔到達目標〕						
・ Wordソフトの基本的な活用、文字や段落の書式設定・画像の挿入等を踏まえて文書の作成ができる ・ 実社会を想定し、書類の作成や管理ができる						
〔成績評価基準〕						
評価の前提条件： 出席率が80%以上であること、および、各評価項目がすべて「可」以上であること						
評価項目： 検定試験(50%)、受講態度(50%)						
〔授業時間外に必要な学習内容〕						
〔教材・検定〕						
教材：FOM出版 よくわかるマスター Microsoft Office Specialist Word 2019 対策テキスト&問題集						
検定：						
〔必要な費用〕						
教材費：円						
検定費：円						
〔履修にあたっての留意点〕						
〔実務教員の実務経験〕						
〔備 考〕						
コマ	授業計画・内容					
1～2	授業概要説明、Word操作基礎					

授業シラバス

MCL盛岡情報ビジネス & デザイン専門学校

単位名	ビジネス概論 I	授業科目名	販売実践		
受講可能学科	情報ビジネス科	履修年次	1年～	開講期間	後期
授業方法	講義&演習	授業コマ数	15コマ(30単位時間)		
担当講師	小國孔志郎	講師区分	一般教員	分類	必修選択
〔授業のねらい・概要〕 チームに分かれ、それぞれが考える利益活動を実現する					
〔到達目標〕 ・ 実現可能なビジネスプランを立てることができる ・ 実現に向け、役割を明確にして協働できる					
〔成績評価基準〕 評価の前提条件: 出席率が80%以上であること、および、各評価項目がすべて「可」以上であること 評価項目: 課題の内容評価(20%)、発表会(40%)、受講態度(40%)					
〔授業時間外に必要な学習内容〕					
〔教材・検定〕 教材: 検定:					
〔必要な費用〕 教材費: 円 検定費: 円					
〔履修にあたっての留意点〕					
〔実務教員の実務経験〕					
〔備 考〕					
コマ	授業計画・内容				
1	オリエンテーション、チーム分け				

授業シラバス

MCL盛岡情報ビジネス＆デザイン専門学校

単位名	ビジネス概論 I	授業科目名	マーケティング		
受講可能学科	情報ビジネス科	履修年次	1年～	開講期間	後期
授業方法	講義&演習	授業コマ数	15コマ(30単位時間)		
担当講師		講師区分	一般教員	分類	必修選択
〔授業のねらい・概要〕 マーケティングにおける調査法・分析法、解決法を学び、実践までのサイクルを学ぶ					
〔到達目標〕 ・マーケティングの基本を身に付け、実践できる ・マーケットアウトの考えができる					
〔成績評価基準〕 評価の前提条件: 出席率が80%以上であること、および、各評価項目がすべて「可」以上であること 評価項目: 課題の内容評価(40%)、発表会(30%)、受講態度(30%)					
〔授業時間外に必要な学習内容〕					
〔教材・検定〕 教材: 検定:					
〔必要な費用〕 教材費:円 検定費:円					
〔履修にあたっての留意点〕					
〔実務教員の実務経験〕					
〔備 考〕					
コマ	授業計画・内容				
1	マーケティング概論				

授業シラバス

MCL盛岡情報ビジネス & デザイン専門学校

単位名	キャリアデザイン I	授業科目名	ビジネスコミュニケーション		
受講可能学科	情報ビジネス科	履修年次	1年～	開講期間	後期
授業方法	講義&演習	授業コマ数	15コマ(30単位時間)		
担当講師	工藤晴香	講師区分	実務教員	分類	必修
〔授業のねらい・概要〕 社会活動において必要な、人とのコミュニケーションを実践で学ぶ					
〔到達目標〕 ・誰とでも一定の距離感を持って関わる事ができる ・アサーティブを身に付け、自分の考えを伝えることができる					
〔成績評価基準〕 評価の前提条件: 出席率が80%以上であること、および、各評価項目がすべて「可」以上であること 評価項目: 課題の内容評価(20%)、発表会(30%)、受講態度(50%)					
〔授業時間外に必要な学習内容〕					
〔教材・検定〕 教材: 検定:					
〔必要な費用〕 教材費: 円 検定費: 円					
〔履修にあたっての留意点〕					
〔実務教員の実務経験〕 自身が代表を務める会社で、企業研修を行っている。					
〔備 考〕					
コマ	授業計画・内容				
1	イントロダクション				

授業シラバス

MCL盛岡情報ビジネス & デザイン専門学校

単位名	キャリアデザイン I	授業科目名	就職対策/実技		
受講可能学科	情報ビジネス科	履修年次	1年～	開講期間	後期
授業方法	講義&演習	授業コマ数	15コマ(30単位時間)		
担当講師	高橋千穂子	講師区分	実務教員	分類	必修
〔授業のねらい・概要〕					
〔到達目標〕					
〔成績評価基準〕 評価の前提条件: 出席率が80%以上であること、および、各評価項目がすべて「可」以上であること 評価項目: 課題の内容評価(20%)、発表会(30%)、受講態度(50%)					
〔授業時間外に必要な学習内容〕					
〔教材・検定〕 教材: 検定:					
〔必要な費用〕 教材費:円 検定費:円					
〔履修にあたっての留意点〕					
〔実務教員の実務経験〕 金融機関に従事					
〔備 考〕					
コマ	授業計画・内容				
1	オリエンテーション				

授業シラバス

MCL盛岡情報ビジネス & デザイン専門学校

単位名	コンピュータビジネス活用 I		授業科目名	Illustrator応用		
受講可能学科	情報ビジネス科		履修年次	1年～	開講期間	後期
授業方法	講義&演習		授業コマ数	15コマ(30単位時間)		
担当講師	小國孔志郎	講師区分	実務教員	分類	必修選択	
〔授業のねらい・概要〕						
Illustratorの基本操作と機能を理解し、図表やデザイン、イラストレーションを作成できるようになる。また、課題制作を通し、表現力や視覚的情報発信の力を身につける。						
〔到達目標〕						
Illustratorの基本操作ができるようになる。学んだことをもとに、チラシやポスター等の制作物を作成できる。						
〔成績評価基準〕						
評価の前提条件: 出席率が80%以上であること、および、各評価項目がすべて「可」以上であること						
評価項目: 課題の内容評価(40%)、検定試験(30%)、受講態度(30%)						
〔授業時間外に必要な学習内容〕						
〔教材・検定〕						
教材:Illustrator &Photoshop 操作とデザインの教科書						
検定:Illustratorクリエイター能力認定試験(スタンダード)						
〔必要な費用〕						
教材費:円						
検定費:円						
〔履修にあたっての留意点〕						
〔実務教員の実務経験〕						
印刷会社に所属しデザイナーとして従事。						
〔備 考〕						
コマ	授業計画・内容					
1～2	オブジェクトの操作、変形(変形、繰り返し、リフレクト、回転)					

授業シラバス

MCL盛岡情報ビジネス & デザイン専門学校

単位名	ビジネス概論Ⅰ		授業科目名	ビジネス実践(応用)		
受講可能学科	情報ビジネス科		履修年次	1年～	開講期間	後期
授業方法	演習		授業コマ数	15コマ(30単位時間)		
担当講師	小國孔志郎	講師区分	一般教員	分類	必修選択	
〔授業のねらい・概要〕 グループワークを通じてクラスの結束力を高め、ビジネスシーンに必要な基礎力を高める。また、学生の主体的に成長し続けられるよう、自分や物事を多角的、多面的に考え、様々な気づきを得られる機会とする。						
〔到達目標〕 様々な視点から物事を考えられるようになる。チームで協力し、適切な情報収集と情報の整理、伝達（プレゼン、文書）ができるようになる。自己の学習意欲、成長意欲を高めることができる。						
〔成績評価基準〕 評価の前提条件： 出席率が80%以上であること、および、各評価項目がすべて「可」以上であること 評価項目： 発表会(30%)、受講態度(40%)、課題の内容評価(30%)						
〔授業時間外に必要な学習内容〕						
〔教材・検定〕 教材： 検定：						
〔必要な費用〕 教材費：円 検定費：円						
〔履修にあたっての留意点〕						
〔実務教員の実務経験〕						
〔備考〕						
コマ	授業計画・内容					
1	前期の振り返り					

授業シラバス

MCL盛岡情報ビジネス & デザイン専門学校

単位名	経営経済Ⅰ		授業科目名	FP3級学科		
受講可能学科	情報ビジネス科		履修年次	1年～	開講期間	後期
授業方法	講義		授業コマ数	15コマ(30単位時間)		
担当講師	高橋千穂子	講師区分	一般教員	分類	必修	
〔授業のねらい・概要〕						
ライフプランに関わる個人の資金計画、リスク対策について学ぶ。						
〔到達目標〕						
年金、保険の基礎知識を理解し、仕組みについて説明ができる。						
〔成績評価基準〕						
評価の前提条件： 出席率が80%以上であること、および、各評価項目がすべて「可」以上であること						
評価項目： 小テスト得点率(40%)、受講態度(30%)、出席率(30%)						
〔授業時間外に必要な学習内容〕						
〔教材・検定〕						
教材：日本経済新聞出版 FP3級速攻テキスト FP3級速攻問題集						
検定：						
〔必要な費用〕						
教材費：円						
検定費：円						
〔履修にあたっての留意点〕						
各自、電卓を持参すること(卓上・10桁以上表示)。						
〔実務教員の実務経験〕						
〔備考〕						
コマ	授業計画・内容					
1	授業オリエンテーション					

授業シラバス

MCL盛岡情報ビジネス & デザイン専門学校

単位名	ビジネス概論Ⅱ		授業科目名	Office(Access)		
受講可能学科	情報ビジネス科		履修年次	2年～	開講期間	前期
授業方法	講義&演習		授業コマ数	30コマ(60単位時間)		
担当講師	松森良子	講師区分	一般教員	分類	必修選択	
〔授業のねらい・概要〕						
代表的なデータベースソフトであるMicrosoft Accessの操作方法を理解し、目的に応じてデータベースの作成・操作ができる知識を身につける。						
〔到達目標〕						
・ Accessソフトの基本的な活用、基礎的なデータベース設計の原則を理解し、説明できる。 ・ 基本的なデータベースの作成、編集、管理ができる。						
〔成績評価基準〕						
評価の前提条件： 出席率が80%以上であること、および、各評価項目がすべて「可」以上であること						
評価項目： 検定試験(40%)、受講態度(60%)						
〔授業時間外に必要な学習内容〕						
〔教材・検定〕						
教材： 検定:FOM出版 よくわかる Access 2019 基礎						
〔必要な費用〕						
教材費:円 検定費:円						
〔履修にあたっての留意点〕						
〔実務教員の実務経験〕						
〔備 考〕						
コマ	授業計画・内容					
1	授業概要説明、Access操作説明					

授業シラバス

MCL盛岡情報ビジネス & デザイン専門学校

単位名	コンピュータビジネス活用Ⅱ		授業科目名	Office活用(Excel Expert)		
受講可能学科	情報ビジネス科		履修年次	2年～	開講期間	前期
授業方法	講義&演習		授業コマ数	45コマ(90単位時間)		
担当講師	松森良子	講師区分	一般教員	分類	必修選択	
〔授業のねらい・概要〕						
Microsoft Excelの高度な機能を理解し、実社会において、より生産性を高めるために利用環境をカスタマイズできる技術を身につける。						
〔到達目標〕						
高度な関数を使用し、論理演算やデータの検索ができるようになる。データを集計し、様々な角度から分析することができる知識を身につける。その場の状況に応じて、より使いやすく環境設定ができるようになる。						
〔成績評価基準〕						
評価の前提条件: 出席率が80%以上であること、および、各評価項目がすべて「可」以上であること						
評価項目: 検定試験(40%)、定期試験得点率(60%)						
〔授業時間外に必要な学習内容〕						
〔教材・検定〕						
教材:FOM出版 よくわかるマスター Microsoft Office Specialist Excel Expert 2019 対策テキスト&問題集						
検定:						
〔必要な費用〕						
教材費:円						
検定費:円						
〔履修にあたっての留意点〕						
〔実務教員の実務経験〕						
〔備考〕						
コマ	授業計画・内容					
1	授業概要説明、PowerPoint操作説明					

授業シラバス

MCL盛岡情報ビジネス & デザイン専門学校

単位名	情報サービス論	授業科目名	HTML/CSS		
受講可能学科	情報ビジネス科	履修年次	2年～	開講期間	前期
授業方法	講義&演習	授業コマ数	30コマ(60単位時間)		
担当講師	伊藤政幸	講師区分	一般教員	分類	必修選択
〔授業のねらい・概要〕 HTML/CSSを駆使したホームページ制作を行う。コードを書く技術を学ぶと同時にインターネットの仕組み学習する。					
〔到達目標〕 ・ HTML/CSSでコードが書けるようになる ・ インターネットの仕組みを理解する					
〔成績評価基準〕 評価の前提条件: 出席率が80%以上であること、および、各評価項目がすべて「可」以上であること 評価項目: 課題の内容評価(30%)、検定試験(40%)、受講態度(30%)					
〔授業時間外に必要な学習内容〕					
〔教材・検定〕 教材: HTMLとCSS、Webデザインが1冊で身に付く本 検定: サーフティファイWebクリエイター認定試験					
〔必要な費用〕 教材費: 円 検定費: 円					
〔履修にあたっての留意点〕					
〔実務教員の実務経験〕					
〔備 考〕					
コマ	授業計画・内容				
1	VSコードのインストール作業				

授業シラバス

MCL盛岡情報ビジネス & デザイン専門学校

単位名	情報サービス論	授業科目名	販売士(2級基礎)		
受講可能学科	情報ビジネス科	履修年次	2年～	開講期間	前期
授業方法	講義&演習	授業コマ数	45コマ(90単位時間)		
担当講師	小原能和	講師区分	実務教員	分類	必修選択
〔授業のねらい・概要〕 販売士検定2級の合格を目指す過程で実践を通し、販売担当に必要な知識とスキルを身に付ける。					
〔到達目標〕 ・販売士検定2級の合格 ・販売における高度な知識と実践経験を根拠とした活動ができる					
〔成績評価基準〕 評価の前提条件： 出席率が80%以上であること、および、各評価項目がすべて「可」以上であること 評価項目： 課題の内容評価(40%)、検定試験(40%)、受講態度(20%)					
〔授業時間外に必要な学習内容〕					
〔教材・検定〕 教材：販売士2級公式ハンドブック/問題集 検定：販売士検定2級					
〔必要な費用〕 教材費：円 検定費：円					
〔履修にあたっての留意点〕					
〔実務教員の実務経験〕 店舗開発・土地開発に従事。日本販売士協会理事。					
〔備 考〕					
コマ	授業計画・内容				
1	流通と小売業				

授業シラバス

MCL盛岡情報ビジネス & デザイン専門学校

単位名	キャリアデザインⅡ		授業科目名	就職対策/一般常識		
受講可能学科	情報ビジネス科		履修年次	2年～	開講期間	前期
授業方法	講義&演習		授業コマ数	30コマ(60単位時間)		
担当講師	高橋千穂子	講師区分	実務教員	分類	必修	
〔授業のねらい・概要〕						
就職試験対策として、主に一般常識やSPI応用、CAB/GAB、クレペリン検査などを取り扱う。						
〔到達目標〕						
就職試験の種類を理解し、一定の理解ができるようになる。						
〔成績評価基準〕						
評価の前提条件: 出席率が80%以上であること、および、各評価項目がすべて「可」以上であること						
評価項目: 小テスト得点率(50%)、受講態度(50%)						
〔授業時間外に必要な学習内容〕						
〔教材・検定〕						
教材:実務教育出版/SPI対策など						
検定:						
〔必要な費用〕						
教材費:円						
検定費:円						
〔履修にあたっての留意点〕						
〔実務教員の実務経験〕						
金融機関に従事。						
〔備考〕						
コマ	授業計画・内容					
1～15	SPI対策の復習と応用					

授業シラバス

MCL盛岡情報ビジネス & デザイン専門学校

単位名	ビジネス概論Ⅱ		授業科目名	3D/CAD		
受講可能学科	情報ビジネス科		履修年次	2年～	開講期間	前期
授業方法	講義&演習		授業コマ数	30コマ(60単位時間)		
担当講師		講師区分	実務教員	分類	必修選択	
〔授業のねらい・概要〕 AutoCADを使用し、基本的な3Dの製図手法を学ぶ。						
〔到達目標〕 ・ 基本的な3Dの製図ができる ・ 立体構造の仕組みが理解できる						
〔成績評価基準〕 評価の前提条件： 出席率が80%以上であること、および、各評価項目がすべて「可」以上であること 評価項目： 課題の内容評価(40%)、検定試験(40%)、受講態度(20%)						
〔授業時間外に必要な学習内容〕						
〔教材・検定〕 教材：オートデスク公式トレーニングガイド 検定：オートデスク認定ユーザー試験						
〔必要な費用〕 教材費：円 検定費：円						
〔履修にあたっての留意点〕						
〔実務教員の実務経験〕 設計事務所にて3D設計に従事。						
〔備 考〕						
コマ	授業計画・内容					
1	CAD概要、Fusion360基礎知識(Chapter1)、ポット3Dモデルの作成(オリジナルテキスト)					

授業シラバス

MCL盛岡情報ビジネス & デザイン専門学校

単位名	基礎教養Ⅱ	授業科目名	ビジネスコミュニケーション		
受講可能学科	情報ビジネス科	履修年次	2年～	開講期間	前期
授業方法	講義&演習	授業コマ数	15コマ(30単位時間)		
担当講師	工藤晴香	講師区分	実務教員	分類	必修
〔授業のねらい・概要〕 社会活動において必要な、人とのコミュニケーションを実践で学ぶ					
〔到達目標〕 ・誰とでも一定の距離感を持って印象良く関わることができる ・アサーティブを身に付け、自分の考えを気持ちよく伝えることができる					
〔成績評価基準〕 評価の前提条件: 出席率が80%以上であること、および、各評価項目がすべて「可」以上であること 評価項目: 課題の内容評価(20%)、発表会(30%)、受講態度(50%)					
〔授業時間外に必要な学習内容〕					
〔教材・検定〕 教材: 検定:					
〔必要な費用〕 教材費: 円 検定費: 円					
〔履修にあたっての留意点〕					
〔実務教員の実務経験〕 自身が代表を務める会社で、企業研修を行っている。					
〔備 考〕					
コマ	授業計画・内容				
1	イントロダクション(自己紹介、グループワーク、コミュニケーションゲーム)				

授業シラバス

MCL盛岡情報ビジネス & デザイン専門学校

単位名	ビジネス概論Ⅱ		授業科目名	販売実践(盛岡楽縁祭)		
受講可能学科	情報ビジネス科		履修年次	2年～	開講期間	前期
授業方法	実習		授業コマ数	45コマ(90単位時間)		
担当講師	伊藤政幸	講師区分	実務教員	分類	必修選択	
〔授業のねらい・概要〕						
企業連携イベント「盛岡楽縁祭」に縁日ブースを出店する						
〔到達目標〕						
・マーケティングによる根拠に基づいたプレゼンテーションができる ・計画を実行するうえで、チームとの協働ができる						
〔成績評価基準〕						
評価の前提条件： 出席率が80%以上であること、および、各評価項目がすべて「可」以上であること 評価項目： 課題の内容評価(30%)、発表会(40%)、受講態度(30%)						
〔授業時間外に必要な学習内容〕						
〔教材・検定〕						
教材： 検定：						
〔必要な費用〕						
教材費：円 検定費：円						
〔履修にあたっての留意点〕						
〔実務教員の実務経験〕						
広告・イベント企画職に従事						
〔備 考〕						
コマ	授業計画・内容					
1	オリエンテーション、チーム分け					

授業シラバス

MCL盛岡情報ビジネス & デザイン専門学校

単位名	ビジネス概論Ⅱ		授業科目名	情報デザイン		
受講可能学科	情報ビジネス科		履修年次	2年～	開講期間	前期
授業方法	講義&演習		授業コマ数	15コマ(30単位時間)		
担当講師	小國孔志郎	講師区分	実務教員	分類	必修選択	
〔授業のねらい・概要〕						
相手に効率よく情報を伝える力を高める。相手が何を伝えたいか、また何を望むかなど、相手目線で物事を考える。						
〔到達目標〕						
物事の本質をつかみ深く追求し、根拠のある提案や言葉選びによって、適切に情報を伝え、企画立案や問題解決を行えるようになる。 広い視点を持ち、様々な角度からの発想をもつ。						
〔成績評価基準〕						
評価の前提条件： 出席率が80%以上であること、および、各評価項目がすべて「可」以上であること						
評価項目： 課題の内容評価(40%)、発表会(40%)、受講態度(20%)						
〔授業時間外に必要な学習内容〕						
〔教材・検定〕						
教材：課題提示プリント						
検定：						
〔必要な費用〕						
教材費：円						
検定費：円						
〔履修にあたっての留意点〕						
〔実務教員の実務経験〕						
印刷会社に所属しデザイナーとして従事。						
〔備 考〕						
コマ	授業計画・内容					
1	オリエンテーション、情報デザイン概論					

授業シラバス

MCL盛岡情報ビジネス & デザイン専門学校

単位名	ビジネス概論Ⅱ		授業科目名	Photoshop		
受講可能学科	情報ビジネス科		履修年次	2年～	開講期間	前期
授業方法	講義&演習		授業コマ数	30コマ(60単位時間)		
担当講師	小國孔志郎	講師区分	実務教員	分類	必修選択	
〔授業のねらい・概要〕						
photoshopスタンダード検定取得に向けて基本操作や機能について学ぶ 検定取得後はIllustratorと合わせた制作を行い、ヴィジュアル作成の技術を身に着ける						
〔到達目標〕						
・ スタンダード能力認定試験を取得する ・ PhotoshopとIllusutradorそれぞれの特性を理解し、資料作成やビジュアル作成など実勢的に使用することができる						
〔成績評価基準〕						
評価の前提条件: 出席率が80%以上であること、および、各評価項目がすべて「可」以上であること 評価項目: 検定試験(40%)、課題の内容評価(30%)、受講態度(30%)						
〔授業時間外に必要な学習内容〕						
〔教材・検定〕						
教材:Illustrator &Photoshop 操作とデザインの教科書 検定:Photoshopクリエイター能力認定試験(スタンダード)						
〔必要な費用〕						
教材費:円 検定費:円						
〔履修にあたっての留意点〕						
〔実務教員の実務経験〕						
印刷会社に所属しデザイナーとして従事。						
〔備 考〕						
コマ	授業計画・内容					
1	前半:オリエンテーション／後半:ソフトの特徴説明、基本操作など					

授業シラバス

MCL盛岡情報ビジネス&デザイン専門学校

単位名	経営経済Ⅱ		授業科目名	FP3級学科/実技		
受講可能学科	情報ビジネス科		履修年次	2年～	開講期間	前期
授業方法	講義		授業コマ数	45コマ(90単位時間)		
担当講師	高橋千穂子	講師区分	一般教員	分類	必修	
〔授業のねらい・概要〕						
ライフプランに関わる個人の資金計画、資産運用、税の基本知識を身につける。						
〔到達目標〕						
年金、保険、金融、所得税、不動産、相続基についての基礎知識を理解し、仕組みについて説明ができる。						
〔成績評価基準〕						
評価の前提条件： 出席率が80%以上であること、および、各評価項目がすべて「可」以上であること						
評価項目： 検定試験(30%)、小テスト得点率(30%)、受講態度(20%)、出席率(20%)						
〔授業時間外に必要な学習内容〕						
〔教材・検定〕						
教材：日本経済新聞出版 FP3級速攻テキスト FP3級速攻問題集 模擬問題および過去問題 他						
検定：ファイナンシャル・プランニング技能士3級 個人資産相談業務						
〔必要な費用〕						
教材費：円						
検定費：円						
〔履修にあたっての留意点〕						
各自、電卓を持参すること(卓上・10桁以上表示)。						
〔実務教員の実務経験〕						
〔備考〕						

授業シラバス

MCL盛岡情報ビジネス＆デザイン専門学校

単位名	経営経済Ⅱ		授業科目名	日商簿記2級		
受講可能学科	情報ビジネス科		履修年次	2年～	開講期間	前期
授業方法	講義		授業コマ数	105コマ(210単位時間)		
担当講師	佐々木友香	講師区分	実務教員	分類	必修選択	
〔授業のねらい・概要〕						
日商簿記検定2級の学習を通じて、中規模以上の株式会社で行われる会計処理および原価計算が行えるようになる。						
〔到達目標〕						
商品売買業に加え、サービス業や製造業を営む株式会社の取引を、正しく処理できる。 正しい原価計算ができる。C V P 分析を行い、短期の利益計画が行える。						
〔成績評価基準〕						
評価の前提条件： 出席率が80%以上であること、および、各評価項目がすべて「可」以上であること						
評価項目： 検定試験(30%)、小テスト得点率(30%)、受講態度(20%)、出席率(20%)						
〔授業時間外に必要な学習内容〕						
演習時間内に決められた範囲が終了しなかった場合、次回授業開始までに必ず完了させること。						
〔教材・検定〕						
教材：TAC 日商簿記2級合格テキスト・合格トレーニング 問題プリント 他						
検定：日商簿記検定2級						
〔必要な費用〕						
教材費：円						
検定費：円						
〔履修にあたっての留意点〕						
日商簿記3級を取得済み、もしくは日商簿記3級と同等程度の知識を持っていることを受講の条件とする。 各自、簿記検定で使用可能な電卓を持参すること(12桁以上、GT・メモリー機能付きが望ましい)。						
〔実務教員の実務経験〕						
建設会社に経理事務担当として3年間従事。						
〔備 考〕						

コマ	授業計画・内容
1	授業オリエンテーション, 基礎力の確認
2	商簿: 簿記一巡の手続き, 財務諸表
3~4	商簿: 商品売買
5~6	商簿: 現金及び預金
7~8	商簿: 債権・債務
9	工簿: 工業簿記の基礎, 勘定連絡図
10~12	商簿: 有価証券
13~14	工簿: 材料費
15~16	商簿: 有形固定資産Ⅰ
17~18	工簿: 労務費
19~21	商簿: 有形固定資産Ⅱ
22~23	工簿: 経費
24	商簿: リース取引
25	商簿: 無形固定資産と研究開発費
26~28	工簿: 個別原価計算
29~30	商簿: 引当金
31~33	工簿: 部門別個別原価計算
34~36	商簿: 外貨換算会計
37~38	工簿: 総合原価計算Ⅰ
39~40	商簿: 税金, 課税所得の算定と税効果会計
41~42	工簿: 総合原価計算Ⅱ
43~44	商簿: 株式の発行, 剰余金の配当と処分
45~46	工簿: 総合原価計算Ⅲ
47~48	商簿: 決算手続Ⅰ
49~50	工簿: 総合原価計算Ⅳ
51~52	商簿: 決算手続Ⅱ
53~54	工簿: 総合原価計算Ⅴ
55	商簿: 費用・収益の認識基準
56~57	商簿: 本支店会計
58	工簿: 財務諸表
59	商簿: 合併と事業譲渡
60~61	工簿: 標準原価計算Ⅰ
62	商簿: 連結会計Ⅰ
63~64	商簿: 連結会計Ⅱ
65~66	工簿: 標準原価計算Ⅱ
67~69	商簿: 連結会計Ⅲ
70~71	工簿: 標準原価計算Ⅲ
72~74	商簿: 連結会計Ⅳ
75~76	工簿: 直接原価計算Ⅰ
77~79	商簿: 連結会計Ⅴ
80~81	工簿: 直接原価計算Ⅱ
82~83	商簿: 製造業会計
84~85	工簿: 本社工場会計

授業シラバス

MCL盛岡情報ビジネス & デザイン専門学校

単位名	基礎教養Ⅱ		授業科目名	ビジネスマナー		
受講可能学科	情報ビジネス科		履修年次	2年～	開講期間	後期
授業方法	実習		授業コマ数	15コマ(30単位時間)		
担当講師	松森良子	講師区分	一般教員	分類	必修	
〔授業のねらい・概要〕						
社会人にとって必要な一般常識、応用的なビジネスマナーを確認し、実務能力を身につける。						
〔到達目標〕						
ビジネスパーソンとしての常識、マナーを理解し、自らの生活、業務で活用することができる。						
〔成績評価基準〕						
評価の前提条件： 出席率が80%以上であること、および、各評価項目がすべて「可」以上であること						
評価項目： 定期試験得点率(50%)、受講態度(50%)						
〔授業時間外に必要な学習内容〕						
〔教材・検定〕						
教材：最新ビジネスマナーの基本						
検定：						
〔必要な費用〕						
教材費：円						
検定費：円						
〔履修にあたっての留意点〕						
〔実務教員の実務経験〕						
〔備 考〕						
コマ	授業計画・内容					
1	オリエンテーション, 社外文書の基本					

授業シラバス

MCL盛岡情報ビジネス & デザイン専門学校

単位名	コンピュータビジネス活用Ⅱ		授業科目名	Office活用(Excel Word)		
受講可能学科	情報ビジネス科		履修年次	2年～	開講期間	後期
授業方法	講義&演習		授業コマ数	30コマ(60単位時間)		
担当講師	松森良子	講師区分	一般教員	分類	必修選択	
〔授業のねらい・概要〕						
Microsoft Excelの高度な機能を理解し、実社会において、より生産性を高めるために利用環境をカスタマイズできる技術を身につける。						
〔到達目標〕						
高度な関数を使用し、論理演算やデータの検索ができるようになる。データを集計し、様々な角度から分析することができる知識を身につける。その場の状況に応じて、より使いやすく環境設定ができるようになる。						
〔成績評価基準〕						
評価の前提条件: 出席率が80%以上であること、および、各評価項目がすべて「可」以上であること						
評価項目: 検定試験(40%)、定期試験得点率(60%)						
〔授業時間外に必要な学習内容〕						
〔教材・検定〕						
教材:FOM出版 よくわかるマスター Microsoft Office Specialist Word Expert 2019 対策テキスト&問題集						
検定:						
〔必要な費用〕						
教材費:円						
検定費:円						
〔履修にあたっての留意点〕						
〔実務教員の実務経験〕						
〔備考〕						
コマ	授業計画・内容					
1	授業概要説明、PowerPoint操作説明					

授業シラバス

MCL盛岡情報ビジネス & デザイン専門学校

単位名	情報サービス論	授業科目名	Javascript		
受講可能学科	情報ビジネス科	履修年次	2年～	開講期間	後期
授業方法	講義&演習	授業コマ数	30コマ(60単位時間)		
担当講師	伊藤政幸	講師区分	一般教員	分類	必修選択
〔授業のねらい・概要〕 ホームページ制作を基盤にJavascriptの基本を習得。動きのあるページの制作ができることで、よりUXの向上を意識した作り手を目指す。					
〔到達目標〕 ・ Webページ上で動きや新しい要素を加えた制作ができる ・ UXを意識した制作ができる					
〔成績評価基準〕 評価の前提条件: 出席率が80%以上であること、および、各評価項目がすべて「可」以上であること 評価項目: 課題の内容評価(70%)、受講態度(30%)					
〔授業時間外に必要な学習内容〕					
〔教材・検定〕 教材: ステップアップ Javascript 検定:					
〔必要な費用〕 教材費: 円 検定費: 円					
〔履修にあたっての留意点〕					
〔実務教員の実務経験〕					
〔備 考〕					
コマ	授業計画・内容				
1	JavaScriptとは				

授業シラバス

MCL盛岡情報ビジネス&デザイン専門学校

単位名	情報サービス論		授業科目名	Webデザイン		
受講可能学科	情報ビジネス科		履修年次	2年～	開講期間	後期
授業方法	講義&演習		授業コマ数	15コマ(30単位時間)		
担当講師	伊藤政幸	講師区分	一般教員	分類	必修選択	
〔授業のねらい・概要〕						
Figmaの基本操作を学びながらWebデザインを習得する。後半はオリジナルのホームページを制作し、応用技術を身に付ける。						
〔到達目標〕						
・ UIとUXを考えた制作ができるようになる ・ Figmaの基本操作を習得する						
〔成績評価基準〕						
評価の前提条件： 出席率が80%以上であること、および、各評価項目がすべて「可」以上であること						
評価項目： 課題の内容評価(50%)、発表会(20%)、受講態度(30%)						
〔授業時間外に必要な学習内容〕						
〔教材・検定〕						
教材：Figma UIデザイン						
検定：						
〔必要な費用〕						
教材費：円						
検定費：円						
〔履修にあたっての留意点〕						
〔実務教員の実務経験〕						
〔備 考〕						
コマ	授業計画・内容					
1～2	Figmaの基本操作					

授業シラバス

MCL盛岡情報ビジネス&デザイン専門学校

単位名	キャリアデザインⅡ		授業科目名	購買実践		
受講可能学科	情報ビジネス科		履修年次	2年～	開講期間	後期
授業方法	実習		授業コマ数	15コマ(30単位時間)		
担当講師	高橋千穂子	講師区分	一般教員	分類	必修	
〔授業のねらい・概要〕						
企業と連携し、仕入れと販売を経験する。これまでのマーケティングおよび販売士の学習を活かし「売れる商品」の選定と、企業との交渉経験を主な目的としている。						
〔到達目標〕						
・企業と適切に交渉が行える ・ターゲットに合わせて商品選定ができ、仕入れルートを考え行動できる						
〔成績評価基準〕						
評価の前提条件： 出席率が80%以上であること、および、各評価項目がすべて「可」以上であること 評価項目： 課題の内容評価(70%)、受講態度(30%)						
〔授業時間外に必要な学習内容〕						
〔教材・検定〕						
教材： 検定：						
〔必要な費用〕						
教材費：円 検定費：円						
〔履修にあたっての留意点〕						
〔実務教員の実務経験〕						
〔備考〕						
コマ	授業計画・内容					
1	オリエンテーション、チーム分け					

授業シラバス

MCL盛岡情報ビジネス&デザイン専門学校

単位名	ビジネス概論Ⅱ		授業科目名	統計学		
受講可能学科	情報ビジネス科		履修年次	2年～	開講期間	後期
授業方法	講義&演習		授業コマ数	15コマ(30単位時間)		
担当講師	小國孔志郎	講師区分	一般教員	分類	必修選択	
〔授業のねらい・概要〕						
確率法やベイズ統計法といった統計の基本を学び、物事を数字になぞらえた見方を学ぶ。						
〔到達目標〕						
・企画立案の際に必要な根拠を数字で示せる ・統計における基本の計算法が理解できている						
〔成績評価基準〕						
評価の前提条件： 出席率が80%以上であること、および、各評価項目がすべて「可」以上であること						
評価項目： 小テスト得点率(30%)、課題の内容評価(50%)、受講態度(20%)						
〔授業時間外に必要な学習内容〕						
〔教材・検定〕						
教材：統計学入門						
検定：						
〔必要な費用〕						
教材費：円						
検定費：円						
〔履修にあたっての留意点〕						
〔実務教員の実務経験〕						
〔備 考〕						
コマ	授業計画・内容					
1	統計学概論					

授業シラバス

MCL盛岡情報ビジネス & デザイン専門学校

単位名	情報サービス論		授業科目名	販売士(2級応用)		
受講可能学科	情報ビジネス科		履修年次	2年～	開講期間	後期
授業方法	講義&演習		授業コマ数	45コマ(90単位時間)		
担当講師	小原能和	講師区分	実務教員	分類	必修選択	
〔授業のねらい・概要〕						
販売士検定2級の合格を目指す過程で実践を通し、販売担当に必要な知識とスキルを身に付ける。						
〔到達目標〕						
・販売士検定2級の合格 ・販売における高度な知識と実践経験を根拠とした活動ができる						
〔成績評価基準〕						
評価の前提条件: 出席率が80%以上であること、および、各評価項目がすべて「可」以上であること						
評価項目: 課題の内容評価(40%)、検定試験(40%)、受講態度(20%)						
〔授業時間外に必要な学習内容〕						
〔教材・検定〕						
教材: 販売士2級公式ハンドブック/問題集						
検定: 販売士検定2級						
〔必要な費用〕						
教材費: 円						
検定費: 円						
〔履修にあたっての留意点〕						
〔実務教員の実務経験〕						
店舗開発・土地開発に従事。日本販売士協会理事。						
〔備 考〕						
コマ	授業計画・内容					
1～2	店舗運営サイクルの実践と管理					

授業シラバス

MCL盛岡情報ビジネス & デザイン専門学校

単位名	ビジネステーマ研究		授業科目名	Webマーケティング		
受講可能学科	情報ビジネス科		履修年次	2年～	開講期間	後期
授業方法	講義&演習		授業コマ数	30コマ(60単位時間)		
担当講師	吉田涼太	講師区分	実務教員	分類	必修選択	
〔授業のねらい・概要〕						
Webマーケティング、SNSマーケティングの手法を学び、調査法・分析法・解決方を学ぶ。						
〔到達目標〕						
・最適な調査法を選び正しい調査ができる ・調査内容を精査し、解決法を導くことができる						
〔成績評価基準〕						
評価の前提条件： 出席率が80%以上であること、および、各評価項目がすべて「可」以上であること						
評価項目： 課題の内容評価(40%)、発表会(20%)、受講態度(40%)						
〔授業時間外に必要な学習内容〕						
〔教材・検定〕						
教材：						
検定：						
〔必要な費用〕						
教材費：円						
検定費：円						
〔履修にあたっての留意点〕						
〔実務教員の実務経験〕						
企業のマーケティングとして従事。						
〔備 考〕						
コマ	授業計画・内容					
1	WEBマーケ概論：マーケティングとの相違点と特徴					

授業シラバス

MCL盛岡情報ビジネス & デザイン専門学校

単位名	経営経済Ⅱ		授業科目名	コンピュータ会計		
受講可能学科	情報ビジネス科		履修年次	2年～	開講期間	後期
授業方法	講義		授業コマ数	30コマ(60単位時間)		
担当講師	高橋千穂子	講師区分	一般教員	分類	必修選択	
〔授業のねらい・概要〕						
コンピュータ会計能力検定2級の受験を通じて、会計ソフトを利用した会計データの様々な活用方法を身に付ける。企業の資金増減原因を把握できるようになる。						
〔到達目標〕						
証憑をもとに日常の取引や決算処理を入力することができる。会計ソフトによる財務諸表の作成、損益分析ができる。1会計期間の資金繰り表が作成できる。						
〔成績評価基準〕						
評価の前提条件： 出席率が80%以上であること、および、各評価項目がすべて「可」以上であること						
評価項目： 検定試験(30%)、小テスト得点率(30%)、受講態度(20%)、出席率(20%)						
〔授業時間外に必要な学習内容〕						
演習時間内に決められた範囲が終了しなかった場合、次回授業開始までに必ず完了させること。						
〔教材・検定〕						
教材：弥生会計(会計ソフト) 実教出版 コンピュータ会計応用 テキスト 過去問題集 検定：全経コンピュータ会計能力検定2級						
〔必要な費用〕						
教材費：円 検定費：円						
〔履修にあたっての留意点〕						
各自、電卓を持参すること(卓上・10桁以上表示)。 また、簿記の基礎知識があることを前提に授業を進めるため、事前に復習してから授業に臨むこと。						
〔実務教員の実務経験〕						
〔備考〕						

授業シラバス

MCL盛岡情報ビジネス & デザイン専門学校

単位名	経営経済Ⅱ		授業科目名	法人税法		
受講可能学科	情報ビジネス科		履修年次	2年～	開講期間	後期
授業方法	講義		授業コマ数	15コマ(30単位時間)		
担当講師	高橋千穂子	講師区分	一般教員	分類	必修選択	
〔授業のねらい・概要〕						
法人税法能力検定3級の受験を通じて、税金の意義、目的を理解し、基本的な課税所得の計算方法及び法人税額の計算方法を身に付ける。						
〔到達目標〕						
中小一般法人（資本金1億円以下の株式会社）における法人税額の計算ができる。						
〔成績評価基準〕						
評価の前提条件： 出席率が80%以上であること、および、各評価項目がすべて「可」以上であること						
評価項目： 検定試験(30%)、小テスト得点率(30%)、受講態度(20%)、出席率(20%)						
〔授業時間外に必要な学習内容〕						
〔教材・検定〕						
教材：TAC 法人税法3級 過去問題集 検定：全経法人税法能力検定3級						
〔必要な費用〕						
教材費：円 検定費：円						
〔履修にあたっての留意点〕						
各自電卓を持参すること(卓上・10桁以上表示)。 また、簿記の基礎知識があることを前提に授業を進めるため、事前に復習してから授業に臨むこと。						
〔実務教員の実務経験〕						
〔備考〕						

授業シラバス

MCL盛岡情報ビジネス&デザイン専門学校

単位名	ビジネステーマ研究	授業科目名	卒業研究		
受講可能学科	情報ビジネス科	履修年次	2年～	開講期間	後期
授業方法	実習	授業コマ数	60コマ(120単位時間)		
担当講師	伊藤政幸	講師区分	実務教員	分類	必修選択
〔授業のねらい・概要〕 企業と連携し、利益活動を行う。					
〔到達目標〕 ・これまで学んだことを活かし、利益を得られる活動ができる ・連携企業先と円滑なコミュニケーションを保てる					
〔成績評価基準〕 評価の前提条件： 出席率が80%以上であること、および、各評価項目がすべて「可」以上であること 評価項目： 課題の内容評価(50%)、発表会(30%)、受講態度(20%)					
〔授業時間外に必要な学習内容〕					
〔教材・検定〕 教材： 検定：					
〔必要な費用〕 教材費：円 検定費：円					
〔履修にあたっての留意点〕					
〔実務教員の実務経験〕 広告・イベント企画職に従事					
〔備 考〕					
コマ	授業計画・内容				
1	概要説明、チーム発表				

